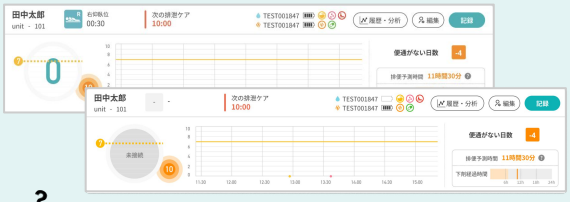
困ったときの対処法

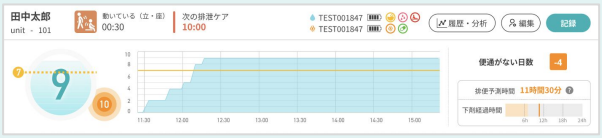
1



数値が表示されない・なかなか上がらない

P3

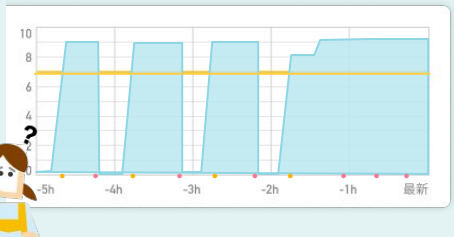
2



高い数値が続いている

P4

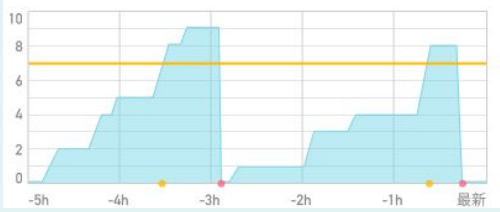
3



通知回数が多い

P5

4



そろそろ通知のタイミングが合わない場合

P6

本書の情報は、2025年5月時点のものであり、予告なく変更になる場合がありますので、
最新情報は当社ホームページにてご確認ください。

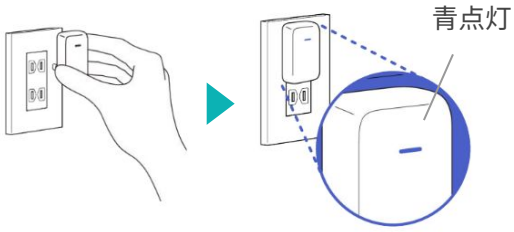
Ver.DU2P-PF-MS-1.0

0 はじめに - 装着開始時に確認すること -

DFreeのご利用を開始される際は、下記のチェック項目をご確認ください。

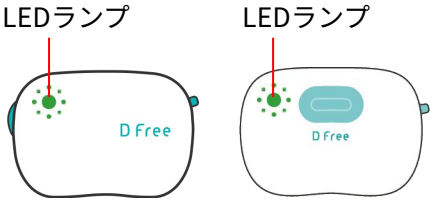
中継機

・ご利用者様の居室近くのコンセントに
2台設置されている
・中継機のLEDランプが青く点灯している



DFree本体

・電源が入っている
・左上のLEDランプが緑色に点滅している



DFreeと入居者の紐づけ設定

・DFreeが入居者に紐づけられている
※紐づけられているDFreeのシリアル番号は、ホーム画面から確認できます
※シリアル番号の変更が必要な場合は、
▼アプリの場合
入居者名をタップし、「編集」→「DFree SN」からシリアル番号を選択
▼パソコンの場合
「編集」→「DFree SN」からシリアル番号を選択

別紙：DFree操作手順書 P14
別紙：DFree（新型）操作手順書P17

モバイル　　パソコン

1 数値が表示されない・なかなか上がらない

まずは、適切に装着できているかをご確認ください。
そのうえで、状況に応じた項目をご確認ください。

✓ 適切な位置に装着している
✓ 適切な方法で装着している
（DFreeが体に密着している）

P10-11

数値が表示されない（尿のたまり具合が「未接続」の状態）

以下原因が考えられます。

・DFreeの電源が入っていない
・通信環境に問題がある
・DFreeと入居者が紐付けされていない

P9
別紙：DFree操作手順書 P14
別紙：DFree（新型）操作手順書P17

なかなか数値が上がらない

以下原因が考えられます。

・装着方法が適切でない
・下腹部の状態により、DFreeが浮きやすい
もしくは膀胱の位置からズレてしまう

P10

日によって数値の上がり方が違う

以下の原因が考えられます。

・日によって装着具合が異なる
・装着位置が安定していない

スキンマーカーで
印をつける（P11）

2 高い数値が続いている

DFreeの数値やグラフが上がったままの時は、以下をご確認ください。

排尿後すぐに数値が上がる / 通知が鳴る

以下の原因が考えられます。

・排尿時に尿を出し切れていない P12

・装着位置が下すぎる P10

排尿しても数値が下がらない

主な利用目的を「そろそろ通知をもとにトイレ誘導」に設定している場合は、排泄記録を入力することで数値とグラフが0にリセットされます。

※「トイレ無/おむつ・パッド無」を選択した場合はグラフは下がりません。

排泄記録以外にグラフが下がる条件

●主な利用目的を「排泄パターン把握(モニタリング)」「でたかも通知をもとにおむつ交換」に設定している場合は、排尿を検出すると数値とグラフが自動で下がります

●長時間（25分以上）通信途切れが起きた場合（リセット通知）

●そろそろラインを超えている状態が6時間以上続いている場合

・主な利用目的の確認方法

別紙：DFree操作手順書 P15

別紙：DFree（新型）操作手順書P30

・排泄記録の入力方法

別紙：DFree操作手順書 P24

別紙：DFree（新型）操作手順書P37

3 通知回数が多い

まずは通知を使用せず、利用者様の膀胱状態をモニタリングすることをおすすめします。

通知を使う場合は、ご利用目的に合わせて必要な通知のみONにしてください。

そろそろ通知

以下の原因が考えられます。

・装着位置が下すぎる P10-11

・排尿時に尿を出し切れていない P12

でたかも通知

※ベッド上で過ごされる方を想定した機能です

以下の原因が考えられます。

・装着方法が適切でない

・DFreeが浮きやすい

・DFreeが膀胱の位置からずれてしまう P10

起き上がり通知

※他の通知よりも優先して表示されます

通知を受け取る時間帯を設定することができます。

別紙：DFree操作手順書 P15

別紙：DFree（新型）操作手順書P30

測定再開通知

以下の原因が考えられます。

・通信環境に問題がある P9

外れ通知

以下の原因が考えられます。

・使用後に電源をOFFにしていない

・装着方法が適切でない

・下腹部の状態により、DFreeが浮きやすい P10

4 そろそろ通知のタイミングが合わない場合

そろそろ通知のタイミングが合わない場合、
まずDFreeの装着具合をご確認ください。

装着具合の確認方法 P10-11

正しく装着できているのにそろそろ通知のタイミングが合わない場合は、
そろそろラインの調整をご検討ください。

そろそろラインの調整が必要なケース

そろそろラインを上げるケース

・そろそろ通知をもとにトイレに誘導しても、排尿がみられない

そろそろラインを下げるケース

・たまり具合の数値がそろそろラインまで届いていない
・トイレに誘導した時には漏れてしまっている
・早めに通知を受け取りたい

※DFreeの数値をみながら、1つずつ調整することをおすすめいたします。
ご不明点はカスタマーサクセスまでお問い合わせください。

そろそろラインの変更方法

別紙：DFree操作手順書 P15
別紙：DFree（新型）操作手順書P30

調整しても排泄状況に変化がみられない

そろそろラインを調整しても排泄状況に変化がみられない場合、別の原因があるのかもしれません。（膀胱機能や心因的な部分、神経障害など）

※DFreeは医療機器ではありませんので、1つの目安としてご活用ください

お困りの際はカスタマーサクセスまでご相談ください

各種対処法

A 利用者の測定条件
P8

B 通信環境の確認方法
P9

C 装着位置と装着具合の確認方法
P10

D 排尿後すぐに数値が上がる場合の対応方法
P12

E 対処法早見表
P13～

お問い合わせ先

メール：care@dfree.co.jp
TEL：03-5459-1295
受付時間：10:00～17:00
月～金（祝日、年末年始を除く）

A 利用者の測定条件

DFreeをご利用いただく際には、対象者・姿勢条件・測定環境を正しく理解した上でご利用ください。誤った使い方をした場合、適切なデータを取ることができず、DFreeの性能を発揮できないことがありますので、ご注意ください。

使用禁忌

次の方はご使用にならないでください
・植込み型医療機器（ペースメーカー、除細動器等）をご利用中の方 ・肌の赤みやかぶれが強い方 ・妊娠中の方

データの取得が難しい傾向にある方

姿勢	過度な前傾姿勢	座位での足組み
姿勢	過度な側臥位	
体型	下腹部の脂肪が厚い方	皮膚の弛みが強い方

安静な姿勢の方や標準体型の方がより測定しやすくなります。大きな体動によりDFreeが膀胱の位置からずれてしまうことや、脂肪の厚みによりDFreeと膀胱の距離が遠く超音波が届かないこと等で、適切なデータが取れない可能性があります。

上記に該当する場合でも、問題なくデータを取得できる方も多くいますので、まず一度お試しください。また、DFree装着部に下着や腹巻等で圧を加えることで、安定したデータを取得しやすくなります。

B 通信環境の確認方法

以下のフローチャートを参考に通信環境をご確認ください。

- 中継機はコンセントに設置されていますか？
  - いいえ → 中継機を利用者付近のコンセントに設置する
  - はい ↓
- 中継機のLEDは青く点灯していますか？
  - いいえ → しばらく待っても青色に点灯しない場合は、中継機の設定を確認する
    - 別紙：DFree操作手順書 P12
    - 別紙：DFree（新型）操作手順書P15
  - はい ↓
- DFreeの電源は入っていますか？
  - いいえ → DFreeの電源を入れる
  - はい ↓
- DFreeのLEDの点滅は何色ですか？
  - 緑点滅 → DFreeが入居者に紐づけられているか確認する ※数字が表示されるまで最大5分かかります
  - 赤緑交互点滅 ↓
- 中継機とDFreeは10m以内にありますか？
  - いいえ → 中継機の設置場所を変更してください
    - 別紙：DFree操作手順書 P12
    - 別紙：DFree（新型）操作手順書P15
  - はい ↓
- 中継機はWi-Fiの届く範囲にありますか？
  - いいえ → 中継機の設置場所を変更してください
  - はい ↓
- DFreeと入居者は紐付けされていますか？
  - いいえ → 設定方法をご確認ください
    - 別紙：DFree操作手順書 P13
    - 別紙：DFree（新型）操作手順書P17
  - 紐付いている ↓
- カスタマーサクセスまでお問い合わせください

C 装着位置と装着具合の確認ポイント

適切なデータを取得するために、いくつかの確認ポイントがあります。
以下を参考に、適切に装着できているかご確認ください。

装着位置

✓ 恥骨の上側に装着用シートのくぼみがきているか
⇒適切な位置が見つかったら、スキンマーカーで印をつけます
※安定して同じ位置に装着することが重要です。

密着性

✓ 装着用シートは浮きがなく貼られているか
✓ ジェルがたっぷりと塗られているか
✓ DFreeが装着用シートの奥まではめ込まれているか

下腹部まわりの状態

✓ **体型**
ふくよかな方の場合、超音波が膀胱まで届きにくいことがあります。

✓ **皮膚**
皮膚のたるみが多い場合、姿勢の変化によってDFreeが膀胱の位置からずれやすくなります。

対策
下着や腹巻などでDFreeを上からおさえる

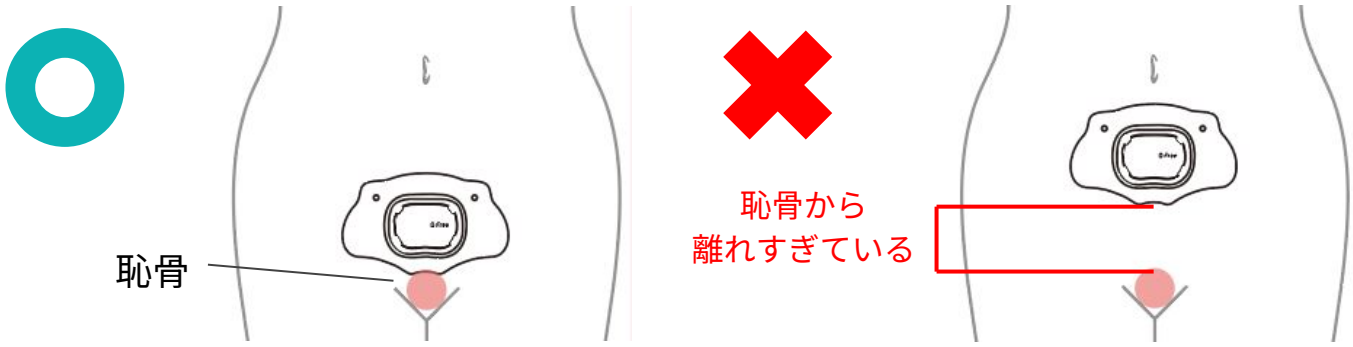
✓ **毛量**
体毛が多い場合、DFreeが身体に密着しにくくなることで数値が上がらないことがあります。

対策
・超音波ジェルを多めに塗る
・体毛を短く整える

装着の注意点

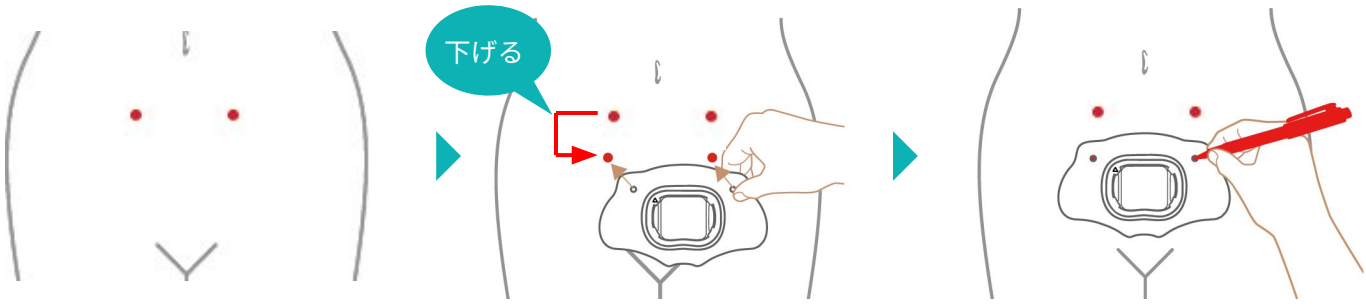
装着場所や装着方法によって適切なデータを取ることができません。
下記を参考に、適切に装着できているかご確認ください。

恥骨の上側に装着用シートのくぼみがくるように装着します。



適切な位置を探すために

DFree装着用シート上部の2つの穴を利用し、スキンマーカーで肌に印を付けます。
数値がなかなか上がらない場合は、装着位置が上すぎる可能性があります。
最初に印を付けた位置を基準に、装着位置を下げてください。



尿のたまり具合	下げ幅の目安
0の場合	マークを基準に3cm下げる
1～3の場合	マークを基準に2cm下げる
4～5の場合	マークを基準に1cm下げる

D 排尿後すぐに数値が上がる / 通知が鳴る

適切な位置に装着しているにも関わらず、排尿後すぐにグラフが上がる場合は、
排尿後にも膀胱内に尿が残っている可能性があります。
ケアの目安としてご活用ください。

ケアの方法

排尿時に腹圧をかけられるようにケアをする

・いつもよりトイレの時間を5分長くする
・トイレで地面を踏ん張り前傾姿勢になる
・膀胱を軽く押し膀胱の収縮を促す
・おむつ交換時にギャッジアップしたり側臥位を促したりすることで、
ベッド上でも腹圧をかけやすくする

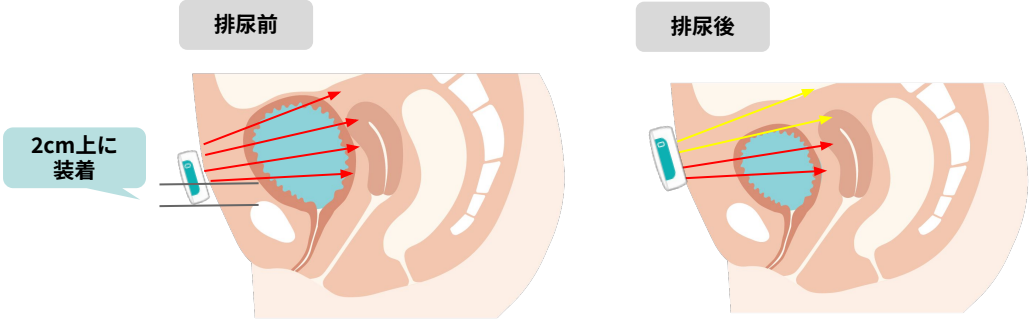
排尿イメージを持ってもらえるようにケアをする

・トイレへ行くことを事前に共有する（排尿する準備を整える）
・水の音を流す（排尿する感覚を聴覚から共有する）
・ウォシュレットやぬるま湯で陰部を刺激する
・排尿イメージの図を共有する

※DFreeは、医療機器ではありませんので1つの目安としてご活用ください
※ご利用者さまの心身状況に合わせて、無理ない範囲でお試しください

補足

数値10が長時間続いてしまい、排尿のタイミングがつかめない場合は、
装着位置を2cm上に上げることで排尿タイミングをつかみやすくなります。

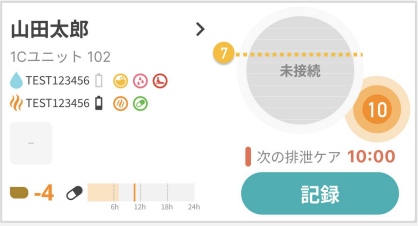


E 対処法早見表

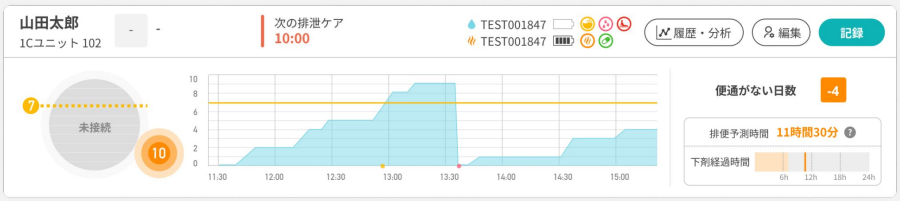
数値やグラフの状態から考えられることと対処法をまとめました。

数値が表示されない（尿のたまり具合メーターが「未接続」の状態）

モバイル



パソコン



何が起きているか

DFreeと中継機が接続されていない

対処法

①中継機を設置する

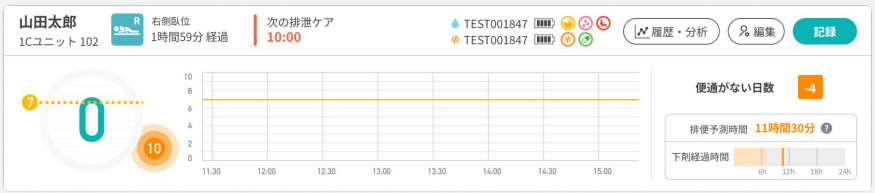
②DFreeの電源を入れる

③DFreeと入居者の紐づけ設定を確認する

なかなか数値が上がらない

モバイル

パソコン



何が起きているか

超音波が膀胱まで届いていない

対処法

①装着位置が適切か確認する

②DFreeが身体に密着しているか、ジェルが塗られているかを確認する

③ふくよかな方・皮膚の弛みが多い方は、下着や腹巻等でDFreeの上から圧をかける

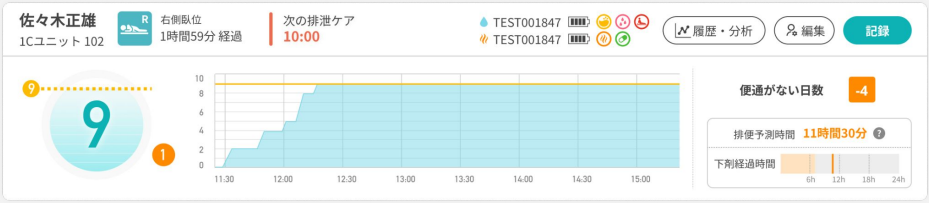
④体毛でDFreeが密着しにくい場合、ジェルを多めに塗るか体毛を短く整える

E 対処法早見表

数値が9〜10のまま続いている

モバイル

パソコン



何が起きているか

一番上のセンサーが反応している状態が続いている

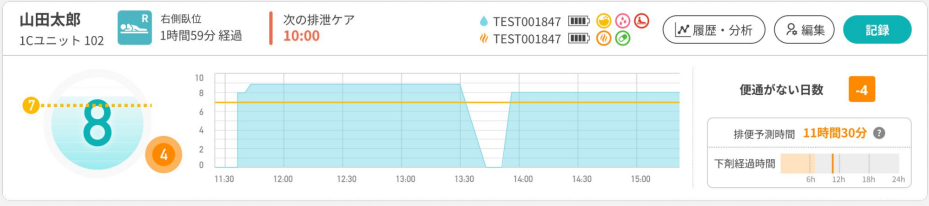
対処法

装着位置を2センチ上にする

排尿後すぐに数値が上がる

モバイル

パソコン



何が起きているか

排尿後も膀胱内に尿が残っている可能性がある

対処法

ケアの目安として活用する